

戦評用紙

平成 30 年度埼玉県高等学校バスケットボール新人大会

平成 31 年 1 月 19 日 (土)

会場 上尾運動公園体育館

第 1 試合

| | | | | | |
|----|-------|----|---|----|--------|
| 対戦 | 庄和 高校 | 21 | － | 23 | 埼玉栄 高校 |
| | 65 | 6 | － | 21 | 92 |
| | | 15 | － | 15 | |
| | | 23 | － | 33 | |

第 1Q 序盤、埼玉栄#0のスピードあふれるドライブや#21のペリメーターなどで加点する。一方庄和は#11の3Pで応戦するが、連続してファウルをしてしまい、流れはつかめない。その後は庄和#9が3Pやドライブで得点を取ると、埼玉栄#0もすぐに決め返すなどお互いが点を取り合う状態。21－23と埼玉栄リードで第1クォーター終了。

第2Q 立ち上がりはお互いシュートチャンスはあるものの、リングに嫌われる。埼玉栄はオールコートプレスディフェンスでパスカットや24秒オーバータイムを取ったり、流れをつかみ25－37と点を離す。庄和はタイムアウトを取り、3－2ゾーンディフェンスで埼玉栄のリズムを崩しにかかったが、勢いは変わらず27－44と埼玉栄リードで後半戦へ。

第3Q 庄和は3－2ゾーンを継続。それに対して埼玉栄は#0を起点に#32の3Pや#21のジャンプシュートで加点する。追いかける庄和は#9が果敢に攻めていくが、得点につながらない。流れが埼玉栄に向きかけたが、庄和#4のバスケットカウントやリバウンドシュートで息を吹き返す。#9の3Pも入り、点差は変わらないまま42－59埼玉栄リードで第3クォーター終了。

第4Q 埼玉栄は庄和の3－2ゾーンに対して、ボール回しがよくなり、#21や#35が連続して得点していく。点差を縮めたい庄和は残り4分をオールコートディフェンスに切り替え、#4#6#9が加点していくが、埼玉栄が追撃を許さず、65－92で勝利した。